
肩関節・膝関節・スポーツ障害に特化した専門治療

肩・膝・スポーツ関節鏡センター

関節鏡手術による低侵襲治療とスポーツ復帰支援

肩の痛みで仕事、スポーツ、趣味が思うように出来ない

膝のケガでパフォーマンスが落ちた

スポーツや活動的な生活をあきらめたくない



当センターの特徴（現役世代やアスリートの早期復帰にも特化）

・関節鏡を用いた低侵襲手術

身体への負担を最小限に抑え、早期退院することで、現役世代アスリートの早期回復や社会復帰の支援を目指します。

・スポーツ障害専門診療（肩・膝）

競技特性を理解した上で肩・膝の適切な治療、手術、リハビリを提案、提供致します。

・地域医療機関との連携重視

ご紹介元との情報共有を密にし、術後の継続的なサポートに努めます。

主な対象疾患と鏡視下手術

腱板断裂、スポーツ障害など状態に合わせた術式と最適なりハビリを提供します

■ 肩関節疾患

疾 患	手 術
腱板断裂	ARCR（鏡視下腱板修復術）
反復性肩関節脱臼	ABR（鏡視下バンカート手術） BB（鏡視下ブリストーバンカート手術）
関節唇損傷・投球障害肩	鏡視下 SLAP 形成術 鏡視下クリーニング手術
肩関節拘縮	鏡視下授動術
石灰性腱板炎	鏡視下石灰切除術

■ 膝関節疾患

疾 患	手 術
前十字靱帯（ACL）損傷	鏡視下 ACL 再建術
半月損傷	鏡視下半月縫合術 切除術
反復性膝蓋骨脱臼	MPFL 再建術

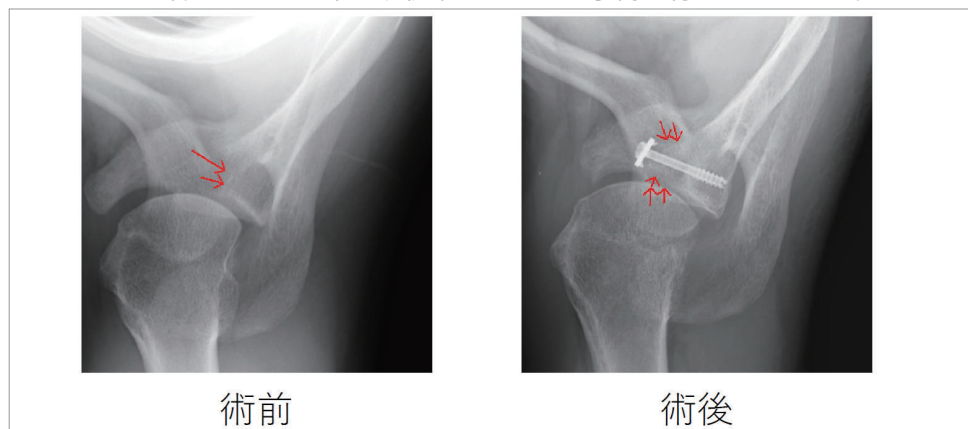
野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、ラグビー など、各種競技における特有の外傷・障害に幅広く対応いたします。

当センターで特に力を入れている手術

【鏡視下バンカート + ブリストー手術】

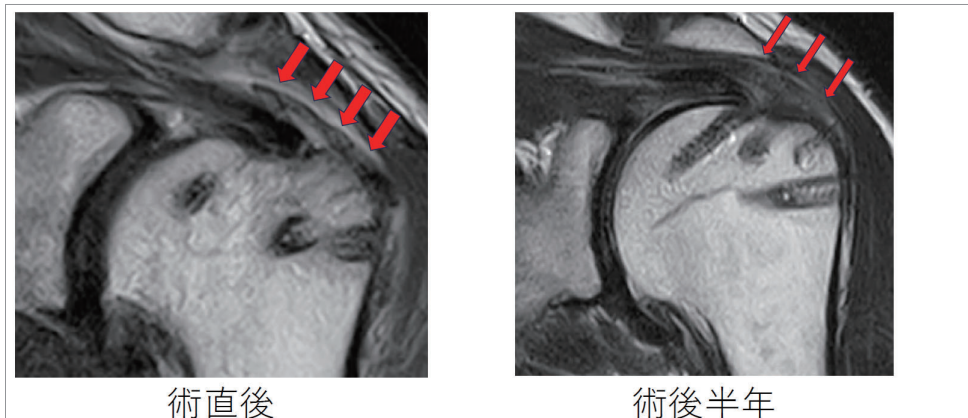
反復性肩関節脱臼に対する手術です。通常のバンカート手術に加え鏡視下に烏口突起を切離し関節窩に骨移植する手術で、コリジョアンアスリート（ラグビー・アメフト・柔道など）、スノーボード選手など再脱臼リスクの高い患者さんに行っております。

※ノンコンタクトスポーツの患者さんには通常の鏡視下バンカート手術を行っております。



【腱板再生誘導材を使用した腱板修復】

コラーゲンシートを腱板不全断裂部や腱板修復部に貼り付けることで、腱板の再生が促され、腱板の治癒力の向上・再断裂のリスク低減が期待されます。当センターではこれまでに 200 症例以上に使用し、好成績を得られております。特に腱板不全断裂に対する治療の幅が広がり、成績も安定しており、腱板断裂の早期診断・早期治療と相性の良い治療です。



【鏡視下筋前進術】

通常の腱板修復術では対応できない大～広範囲断裂が適応。鏡視下に棘上筋腱と棘下筋腱を肩甲骨から剥離前進させる手術です。当センターでは 2022 年 7 月より当術式を導入しております。大～広範囲断裂における術後再断裂リスクが著明に低下しました。

